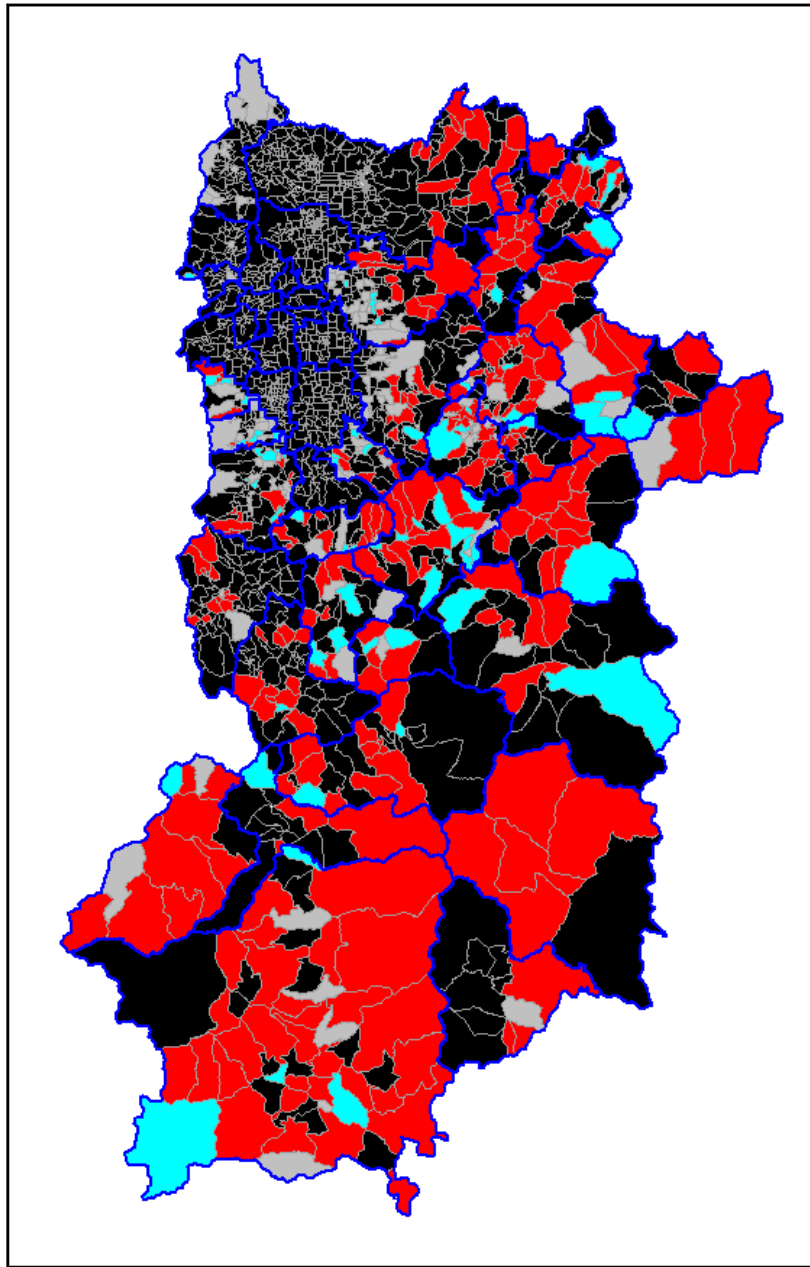


# 農業・林業集落アンケート調査によるノウサギの生息状況・被害状況 (平成25年度)

## 1. 平成25年度 林業集落アンケート調査によるノウサギの分布



左図は、平成25年度の農林業集落アンケート調査による、ノウサギの分布である。

林業集落でノウサギが「いる」と回答があった場合に「いる」と回答があった場合に「分布している」とした。回収無しには既に人が住んでいない集落も含まれている。

ほぼ県内全域の山林から「いる」と回答があった。

・平成25年度

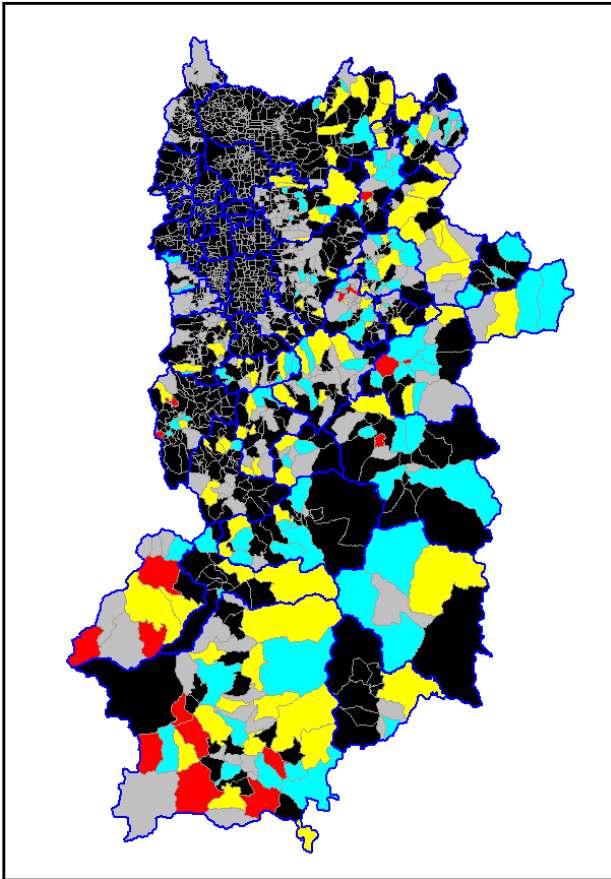
いる	251集落
いない	66集落
回答無し	121集落
回収無し	1370集落
全	1808集落

参考)平成24年度

いる	245集落
いない	38集落
回答無し	136集落
回収無し	1389集落
全	1808集落

凡例 図中 青線 市町村界 市町村界内側の線 大字・地区界  
なお、この市町村界、大字・地区界の凡例は次項以降の図も同様である

## 2. ノウサギの山林・奥地森林での出没(平成25年度)

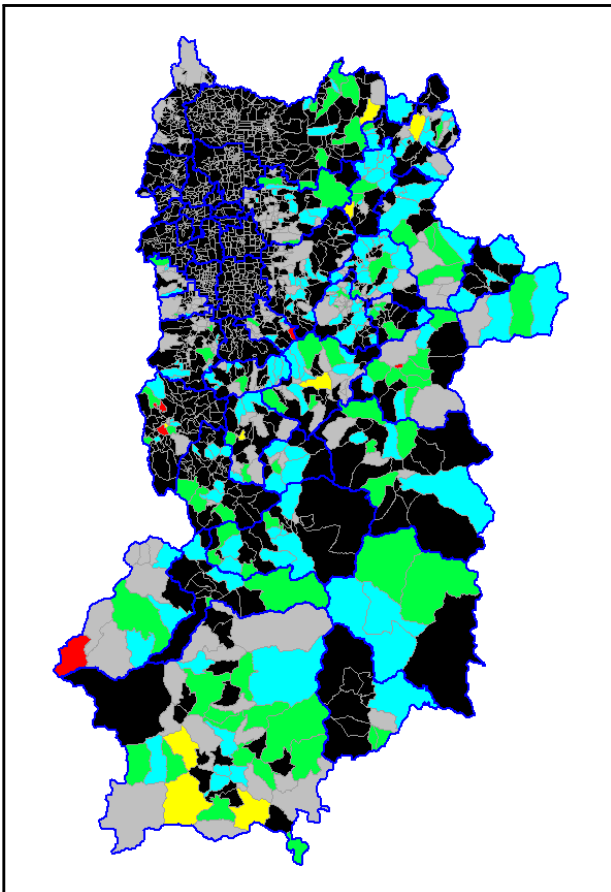


左図は平成25年度の林業集落アンケートによる、ノウサギの山林・奥地森林での出没状況である。  
 ノウサギが「いる」と回答があり、かつ本設問の回答があった集落の内訳は下記の通りである。  
 平成25年度は「よく見る」との回答が約8%、たまに見るが約46%であった。

・平成25年度	
よく見る	17集落(8.3%)
たまに見る	94集落(45.6%)
あまり見ない	95集落(46.1%)
回答数	206集落

参考)平成24年度	
よく見る	23集落(11.9%)
たまに見る	103集落(53.1%)
あまり見ない	68集落(35.1%)
回答数	194集落

## 3. ノウサギの林業被害の大きさ(平成25年度)

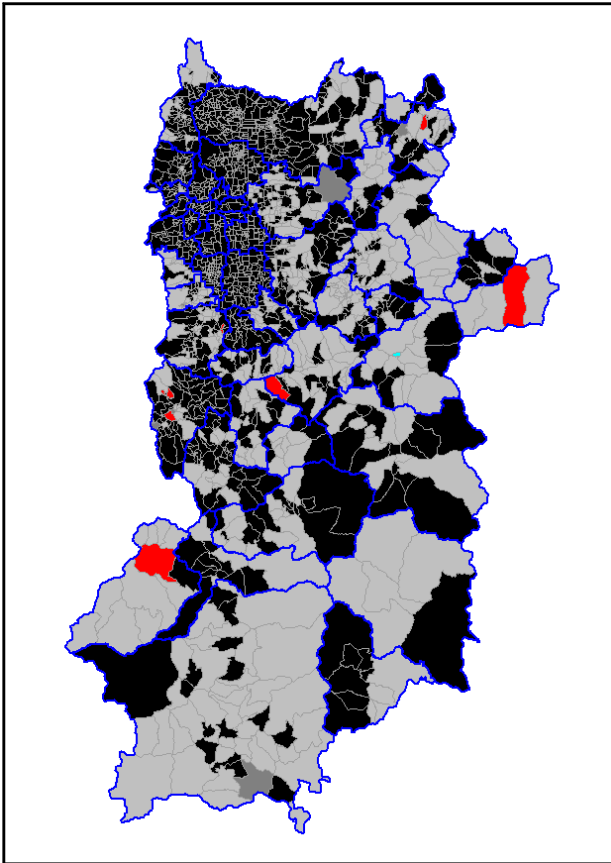


左図は平成25年度の林業集落アンケートによる、ノウサギの林業被害の大きさの意識調査の結果である。  
 ノウサギが「いる」と回答があり、かつ本設問に回答のあった集落の内訳は下記の通りである。  
 ノウサギの林業被害は、「軽微」なものが約34%と最も多かった。「深刻」と「大きい」は併せて約6%であった。  
 かつてはノウサギによる林業被害、特に新植地での摂食被害は非常に大きいものであったが、近年は新植地は減少し、ノウサギの被害も減少している。本年度の調査も、そのような状況を反映していた。

・平成25年度	
ほとんど無い	143集落(60.1%)
軽微	81集落(34.0%)
大きい(生産量の30%未満)	9集落( 3.8%)
深刻(生産量の30%以上)	5集落( 2.1%)
回答数	238集落

参考)平成24年度	
ほとんど無い	128集落(57.1%)
軽微	77集落(34.4%)
大きい(生産量の30%未満)	18集落( 8.0%)
深刻(生産量の30%以上)	1集落( 0.5%)
回答数	224集落

#### 4. ノウサギ被害対策 防護柵(侵入防止柵)の効果(林地・平成25年度)



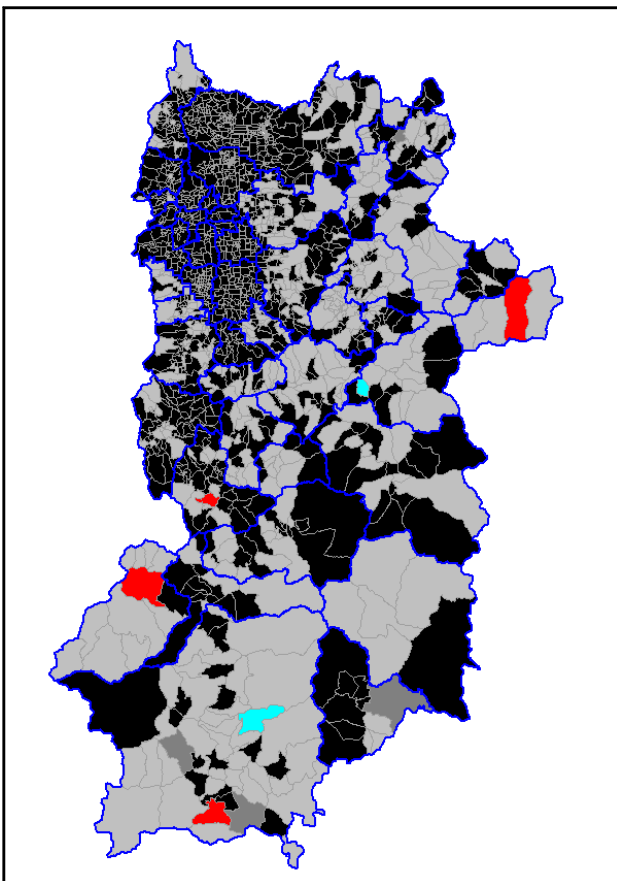
左図は平成25年度の林業集落アンケートによる、ノウサギの林業被害対策の、防護柵(侵入防止柵)の設置による効果の意識調査の結果である

ノウサギが「いる」と回答があり、かつ本設問に回答のあったのは8集落からのみであった。

・平成25年度	
■効果があった	7集落
■効果がなかった	1集落
回答数	8集落

参考)平成24年度	
■効果があった	7集落
■効果がなかった	10集落
回答数	17集落

#### 5. ノウサギの被害対策 有害捕獲の効果(林地・平成25年度)



左図は平成25年度の林業集落アンケートによる、林業被害対策の、有害捕獲を実施した効果の意識調査の結果である。

本設問へ回答は6集落からのみであった。

・平成25年度	
■効果があった	4集落
■効果がなかった	2集落
回答数	6集落

参考)平成24年度	
■効果があった	2集落
■効果がなかった	2集落
回答数	4集落